

館で贈呈式があり、藤本会長が久米川代表に目録を手渡した。久米川代表は謝意を示した上で、「新型コロナウイルスの影響で検診を控える動きが懸念されるが、受診の遅れはがんの進行につながる可能性もある。しっかりと啓発していきたい」と話した。



乳がん検診啓発へ 活動支援金を寄付

国際ソロプチミスト高松

乳がんの早期発見・治療を啓発する10月の「ピンクリボン月間」を前に、国際ソロプチミスト高松(藤本和子会長)は29日、乳がん検診の啓発活動に活用してもらおうと、ピンクリボンかがわ県協議会(代表・久米川啓典医師会長)に寄付金10万円を贈った。写真。

同団体は、女性と女兒の生活や地位の向上に取り組んでおり、寄付は活動の一端で毎年実施。今回はこれまで開催してきたチャリティー映画会や同お茶会の収益金の一部を寄付した。

高松市浜ノ町の県医師会